2-589-688-**03**(1)

# ミニディスクデッキ

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# *MDS-JE580*

# この取扱説明書について

- この取扱説明書では、主に本体のボタン類を使った操作を説明しています。
  - リモコンに本体と同じ表示のボタンがある場合は、そのボタンを使って本体のボタンと同じ操作ができます。
  - 本体とリモコンの表示が違うボタンで、同じ操作ができることもあります。この場合は本体のボタン類の後ろに、同じ操作をするリモコンのボタンを（　）に入れています。
    例）AMSつまみを右に回す（リモコンの▶▶▎を押す）
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

| 記号 | 意味 |
| --- | --- |
|  | この操作はリモコンにあるボタンでのみ可能です。 |
|  | 知っていると便利な情報です。 |

# 使用上のご注意

### 設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をお勧めします。）

### 音量を調節するときは

MDはアナログカセットテープに比べ、非常に雑音が少なくなっています。アナログカセットテープのときのように音のない部分で雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。再生を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

### 結露について

寒いときにお部屋の暖房を入れた直後など、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりでなく、MDや内部の部品も傷めてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDを取り出しておくことをお勧めします。
結露が生じたときは、電源を入れたまま、約1～数時間放置し、再度電源を入れ直してからご使用ください。もし何時間たっても正常に動作しない場合は、ソニーサービス窓口にご連絡ください。

### 本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

# 目次



## 各部の名称とはたらき



## 準備



## MD に録音する



## MD を再生する



## MD を編集する



## その他の機能

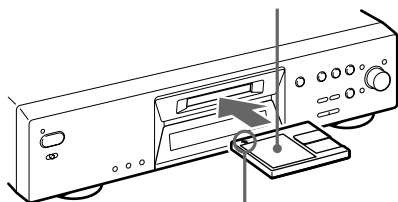


## その他の情報

# 本体前面

1 STANDBY（スタンバイ）ランプ（11、21ページ）

**I/⏻（電源）スイッチ（11、21ページ）**
押して電源を入れるとSTANDBYランプが消灯します。もう一度押して電源を切ると、ランプが点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

2 ＭＤ（エムディー）スロット（11、21ページ）
下図のようにMDを差し込みます。

3 ＭＤＬＰ（エムディーエルピー）インジケーター（13ページ）
録音モードをLP2、LP4ステレオ録音に設定したとき点灯します。また、LP2、LP4ステレオ録音したMDの再生中にも点灯します。

4 EJECT（イジェクト） ≜(MD取り出し)ボタン（11、17、21ページ）

5 ▷(再生)ボタン（11、21ページ）
再生を始めます。また、録音待機状態のときに押すと、録音を始めます。

6 ❚❚(一時停止)ボタン（11、21ページ）
再生や録音を一時停止します。また、一時停止した再生や録音を再開します。

7 ■(停止)ボタン（11、21ページ）
再生、録音などを止めます。また、選んだ項目を取り消します。

8 MENU/NO（メニュー／ノー）ボタン（27ページ）
「Edit Menu」を表示します。

9 YES（イエス）ボタン（27ページ）
選んだ項目を確定します。

10 PLAY MODE（プレイモード）ボタン（25、26ページ）
ふつうの再生、シャッフル再生、プログラム再生を切り換えます。

11 REPEAT（リピート）ボタン（23ページ）
リピート再生を選びます。

レベル／ディスプレイ／キャラクター
12 LEVEL/DISPLAY/CHARボタン（8、17、26、34ページ）

押したときによって、はたらきが以下のように変わります。

| 押したとき | はたらき |
|---|---|
| 録音中または録音待機中 | AMSつまみを使って録音レベルを調節できます。 |
| 停止中 | ディスクの情報を表示します。 |
| 録音中 | 録音中の曲の情報を表示します。 |
| 再生中 | 再生中の曲の情報を表示します。 |
| 編集中 | 入力する文字の種類を選びます。 |

13 表示窓（7ページ）

さまざまな情報を表示します。

インプット
14 INPUTボタン（11、17ページ）

MDに録音するとき、本機に入力する音源を選びます。

15 ◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタン（23、34ページ）

曲の中の聞きたい部分を探したり、文字の入力中にカーソルを移動します。

レコードモード
16 REC MODEボタン（13ページ）

ステレオ録音、LP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音、モノラル録音を切り換えます。

レコード
17 REC ●(録音)ボタン（11、14、17ページ）

録音するときに使います。また、入力信号をモニターしたり、曲番を自分で付けたりするときにも使います。

クリア
18 CLEARボタン（24、26、35、50ページ）

選んだ曲番や文字を取り消します。

エイエムエス
19 AMSつまみ（17、22、27ページ）

曲の頭出し、録音レベルの調節、入力する文字や項目の選択などを行います。選んだ項目を確定するときにも使います。

# 本体後面

1 アナログ入力端子（10、11ページ）

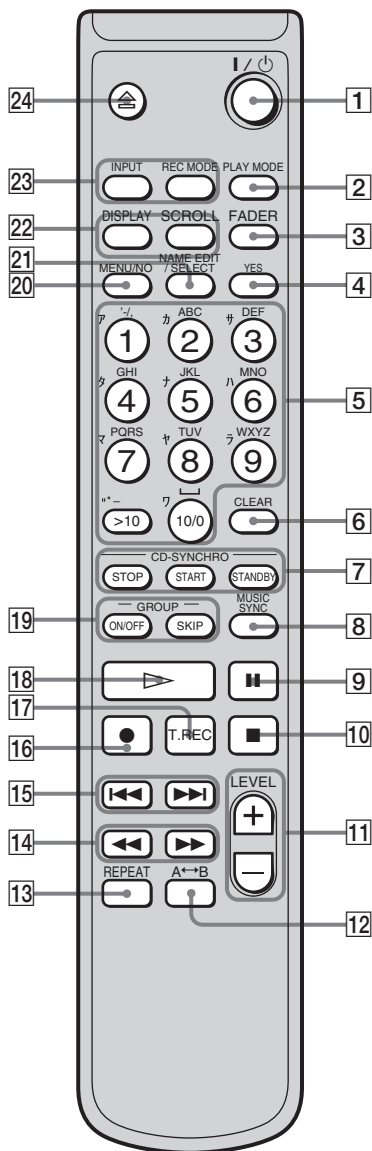
接続した機器の音を、本機のMDにアナログ録音します。

2 アナログ出力端子（10ページ）

接続した機器を通じて、MDの音を再生します。また、接続した機器に、本機のMDの内容をアナログ録音します。

3 デジタルオプチカル入力端子（10、11ページ）

接続した機器の音を、本機のMDにデジタル録音します。

# リモコン

1 I/⏻（電源）スイッチ（11、21ページ）
押して電源を入れると、本体前面のSTANDBYランプが消灯します。もう一度押して電源を切ると、ランプが点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

2 PLAY MODE（プレイモード）ボタン（25、26ページ）
ふつうの再生、シャッフル再生、プログラム再生を切り換えます。

3 FADER（フェーダー）ボタン（41ページ）
フェードイン／アウト録音を行います。

4 YES（イエス）ボタン（27ページ）
選んだ項目を確定します。

5 アルファベット/数字/カタカナ入力ボタン（22、35ページ）
アルファベット、数字、カタカナを入力します。また、曲番を入力するときに使います。

6 CLEAR（クリア）ボタン（24、26、36、50ページ）
選んだ曲番や文字を取り消します。

7 CD-SYNCHRO（シーディーシンクロ）（19ページ）
STOP（ストップ）ボタン
CDシンクロ録音を停止します。
START（スタート）ボタン
CDシンクロ録音を始めます。
STANDBY（スタンバイ）ボタン
CDシンクロ録音待機状態になります。

8 MUSIC SYNC（ミュージックシンクロ）ボタン（19ページ）
ミュージックシンクロ録音を始めます。

9 ❚❚(一時停止)ボタン（11、21ページ）
再生や録音を一時停止します。また、一時停止した再生や録音を再開します。

10 ■(停止)ボタン（11、21ページ）
再生、録音などを止めます。また、選んだ項目を取り消します。

11 LEVEL（レベル）＋/－ボタン（17ページ）
録音または録音待機状態のときに、録音レベルを調節します。

12 A↔Bボタン（24ページ）
A-Bリピート再生を選びます。

13 REPEAT（リピート）ボタン（23ページ）
リピート再生を選びます。

14 ◀◀/▶▶(早戻し/早送り)ボタン（23、36ページ）
曲の中の聞きたい部分を探したり、文字の入力中にカーソルを移動します。

15 I◀◀/▶▶I(頭出し)ボタン（17、22、27ページ）
曲の頭出し、録音レベルの調節、入力する文字や項目の選択などを行います。

16 ●(録音)ボタン（11、14、17ページ）
録音するときに使います。また、入力信号をモニターしたり、曲番を自分で付けたりするときにも使います。

17 T.REC（タイムマシンレコード）ボタン（18ページ）
録音一時停止中に押して、タイムマシン録音を始めます。

18 ▷(再生)ボタン（11、21ページ）
再生を始めます。

19 GROUP ON/OFF（グループ オン／オフ）ボタン
本機では使用しません。

GROUP SKIP（グループスキップ）ボタン
本機では使用しません。

20 MENU/NO（メニュー／ノー）ボタン（27ページ）
「Edit Menu」を表示します。

21 NAME EDIT/SELECT（ネームエディット／セレクト）ボタン（35ページ）
曲名やディスク名を付けたり、変更したりするときに使います。また、曲名やディスク名を入力するときに、文字の種類を選びます。

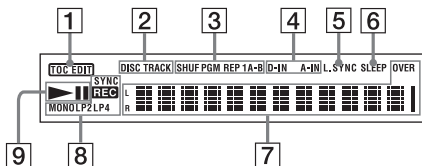
22 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン（8、17、26ページ）
表示窓の情報を切り換えます。

SCROLL（スクロール）ボタン（21ページ）
長いディスク名や曲名をスクロールして表示します。

23 INPUT（インプット）ボタン（11、17ページ）
MDに録音するとき、本機に入力する音源を選びます。

REC MODE（レコードモード）ボタン（13ページ）
ステレオ録音、LP2ステレオ録音、LP4ステレオ録音、モノラル録音を切り換えます。

24 ≙(MD取り出し)ボタン（11、17、21ページ）

# 表示窓

1 TOC（トック）表示（12、27ページ）
- 録音内容がまだMDに記録されていないときは「TOC」が表示されます。録音した内容をMDに記録しているときは「TOC」が点滅します。
- 編集作業中は「TOC EDIT」が表示されます。

2 ディスク名、曲名表示

DISC（ディスク）表示
MDに関する情報が表示されているときに点灯します。

TRACK（トラック）表示
曲に関する情報が表示されているときに点灯します。

3 再生表示

SHUF（シャッフル）表示（25ページ）
シャッフル再生を選ぶと表示されます。

PGM（プログラム）表示（26ページ）
プログラム再生を選ぶと表示されます。

REP（リピート）表示（23ページ）
リピート再生を選ぶと表示されます。
- 全曲リピートを選ぶと「REP」が表示されます。
- 1曲リピートを選ぶと「REP1」が表示されます。
- A-Bリピートを選ぶと「REP A-B」が表示されます。

4 INPUT（インプット）表示（11ページ）
- デジタルオプチカル入力端子に接続した機器を録音源として選んだときに「D-IN」が表示されます。
- アナログ入力端子に接続した機器を録音源として選んだときに「A-IN」が表示されます。

次のページへつづく

**5 L.SYNC表示（14ページ）**

録音中、自動的に曲番を付けるときに表示されます。

**6 SLEEP表示（42ページ）**

スリープタイマーが働いているときに表示されます。

**7 名前表示（33ページ）**

ディスク名や曲名、「Edit Menu」や「Setup Menu」の設定が表示されます。再生中は曲名が表示されます。ディスク名や曲名が付いていないときは、「No Name」と表示されます。

**8 録音表示**

**SYNC表示**

シンクロ録音中に表示されます。

**REC表示**

録音中に表示されます。

**録音モード表示（13ページ）**

- 録音モードをモノラルに設定したときやモノラル録音したMDの再生中は「MONO」が表示されます。
- 録音モードをLP2ステレオに設定したときやLP2ステレオ録音したMDの再生中は「LP2」が表示されます。
- 録音モードをLP4ステレオに設定したときやLP4ステレオ録音したMDの再生中は「LP4」が表示されます。
- 録音モードをステレオに設定したときやステレオ録音したMDの再生中は「MONO」、「LP2」、「LP4」が消灯します。

**9 ►II表示**

再生中や再生一時停止中に表示されます。

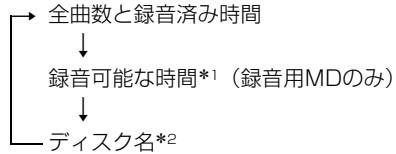
## 表示を切り換える

**LEVEL/DISPLAY/CHAR（リモコンのDISPLAY）をくり返し押す。**

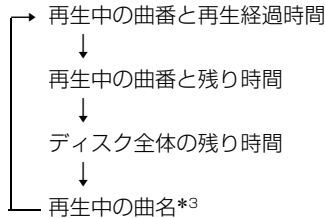
押すたびに、表示は次のように変わります。

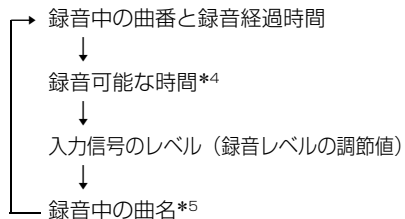
**ご注意**

本機の状態によっては、下記のとおりに表示されない場合があります。

### 停止中

*1録音モード（13ページ）によって、表示される時間は異なります。

*2ディスク名が付いていないときは、「No Name」と表示されます。

### 再生中

*3曲名が付いていないときは、「No Name」と表示されます。

### 録音中

*4録音モード（13ページ）によって、表示される時間は異なります。

*5曲名が付いていないときは、「No Name」と表示されます。

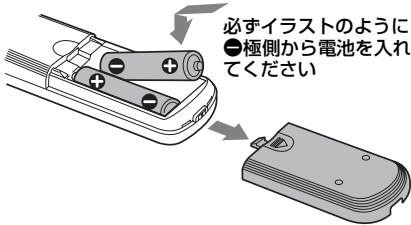
# 接続を始める前に

## 付属品を確認する

本機とともに、次の付属品が同梱されています。

- オーディオ接続コード（ピンプラグ×2⟷ピンプラグ×2）（2）
- 光デジタル接続ケーブル（1）
- リモコン（1）
- ソニー単3形乾電池（2）
- ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内（1）
- 安全のために（1）
- 保証書（1）

## リモコンに電池を入れる

付属の乾電池2個の⊕と⊖と、電池入れ内部の表示を合わせて入れる。

### リモコンで操作するときは

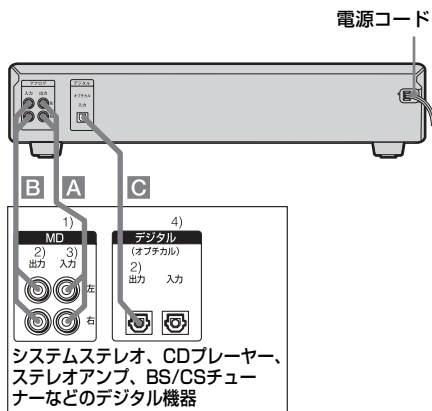
リモコンを本体のリモコン受光部 [R] に向けて操作する。

### 乾電池の寿命は約6か月です。

残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換します。

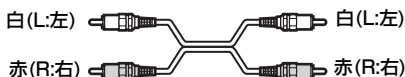
### ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンで操作するときは、本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンからの操作を受け付けないことがあります。

# オーディオ機器に接続する

1) MD端子がないときは、DAT、TAPE、VIDEO、LINE、AUX端子のどれかに接続してください。
2)「(REC) OUT」、「OUTPUT」、「REC」、「録音」などの表記になっている場合もあります。
3)「IN」、「INPUT」、「PLAY」「プレイ」などの表記になっている場合もあります。
4)「光デジタル」、「DIGITAL」、「OPT(ICAL)」などの表記になっている場合もあります。

## 必要なコード類

### オーディオ接続コード（付属）

AB の接続に使います。

オーディオ接続コードの赤いプラグは右（R）端子に、白いプラグは左（L）端子に差し込みます。

### 光デジタル接続ケーブル（付属）

C の接続に使います。

光デジタル接続ケーブルは、デジタルオプチカル端子にカチッと音がするまで平行に差し込んでください。正しく接続されていないと「Din Unlock」「C71」が交互に表示されることがあります。また、光デジタル接続ケーブルは、折り曲げたり束ねたりしないでください。

## A MDの音を聞く

システムステレオやアンプを通じて、MDの音を再生します。また、システムステレオのテープや、アンプに接続されているテープデッキなどに、本機のMDの内容をアナログ録音することができます。

**B～Cまでは、システムステレオやアンプ側に対応する端子がある場合のみ接続してください。**
**MDを聞くには、Aの接続が必要です。**
**また、MDに録音する場合は、BまたはCの接続が必要です。**

## B MDにアナログ録音する

システムステレオのCD、ラジオ、テープや、アンプに接続されているCDプレーヤー、ラジオ、カセットデッキなどの音を、本機のMDにアナログ録音します。

## C MDにデジタル録音する

システムステレオのCD、MDや、DATデッキ、BS/CSチューナー、アンプに接続されているCDプレーヤー、MDデッキなどの音を、本機のMDにデジタル録音します。

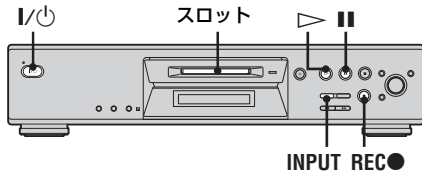
### 接続に関するご注意

- すべての接続が完了するまで、電源コードは接続しないでください。
- 本機と、本機に接続する機器の電源を切ってから接続してください。
- プラグは端子にしっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音や誤動作の原因になります。

### 電源コードを接続する

プラグを壁のコンセントに差し込みます。

# 録音する

すでに録音済みのMDに録音するときは、自動的に録音済みの部分の続きに録音します。

## 1 録音したい音源とシステムステレオ（またはアンプ）の電源を入れる

## 2 システムステレオ（またはアンプ）で音源を選ぶ

## 3 本機のI/⏻（電源）スイッチを押して、電源を入れる

STANDBYランプが消灯します。

## 4 録音用のMDを入れる

## 5 INPUTをくり返し押して、録音したい音源を選ぶ

| 音源が接続されている端子 | 選ぶ表示 |
| --- | --- |
| デジタルオプチカル入力 | D-IN |
| アナログ入力 | A-IN |

## 6 REC ●を押す

録音待機状態になります。

## 7 必要に応じて録音レベルを調節する

詳しくは、「録音レベルを調節する」（17ページ）をご覧ください。

## 8 ▷またはIIを押してから、録音したい音源の再生を始める

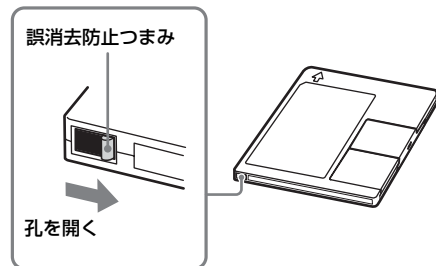
### 録音中の基本操作

| こんなときは | 操作 |
| --- | --- |
| 録音を止める | ■を押す。 |
| 録音を一時停止する | IIを押す。<br>もう一度押すまたは▷を押すと、録音を再開します。 |
| MDを取り出す | 録音を止めたあと、EJECT ⏏を押す。 |

### 録音を一時停止したあとで再開すると

曲番が変わります。例えば、4曲目を録音中に録音を一時停止すると、録音を再開したところから5曲目になります。

### 録音の誤消去を防ぐには

MDの誤消去防止つまみをずらして、孔が開いた状態にすると、録音できなくなります。孔を閉じると、再び録音できるようになります。

### 💡録音した曲をすぐに再生して確認できます。

録音を止めた直後に、▷を押す。
今回録音した最初の曲から再生が始まります。

次のページへつづく

**録音したあと、すぐに1曲目から再生できます。**

**1** 録音を止めた直後に、もう一度■を押す。

**2** ▷を押す。

MDの最初の曲から再生が始まります。

**ご注意**

本機では、dts CDからのデジタル録音はできません。

# 録音するときのご注意

## 録音中の表示について

### 「TOC」が点灯しているとき

録音した内容はまだMDに記録されていません。「TOC」が点灯しているときに電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音した内容をMDに記録できなくなります。MDを取り出そうとしたとき、または本機の電源を切ろうとしたときに録音した内容はMDに記録されます。

### 「TOC Writing」が点滅しているとき

録音した内容をMDに記録しています。このとき、電源プラグをコンセントから抜いたり、本体をゆらしたりしないでください。録音した内容が正しく記録されない場合があります。

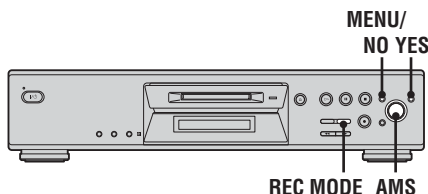
## サンプリングレートコンバーター

本機に入力されるデジタル信号を、MDのサンプリング周波数（44.1kHz）に変換します。したがって、サンプリング周波数の違うDATや衛星デジタル放送（32kHzまたは48kHz）の音をモニターしたり（「入力されている音をモニターする」17ページ）、デジタル録音したりできます。

# 長時間録音する

録音時間を2倍長または4倍長にしてステレオ録音することができます（MDLP録音）。また、モノラル録音では、ステレオ信号をモノラルに変換して録音します。録音時間は、通常のステレオ録音の約2倍になります。
LP4ステレオモード（4倍長時間録音モード）は、特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。音質を重視するときは、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音（2倍長時間録音）をお勧めします。

**MDLP録音した曲は、下記のマークが印刷された機器でのみ再生できます。**
**未対応機器では再生できません。**

MDLP MDLP

## 1 「録音する」（11ページ）の手順1～5を行う

## 2 REC MODEをくり返し押して、録音モードを選ぶ

| 録音モード | 選ぶ表示 |
|---|---|
| ステレオ録音 | 表示なし |
| LP2ステレオ録音 | LP2 |
| LP4ステレオ録音 | LP4 |
| モノラル録音 | MONO |

## 3 「録音する」（11ページ）の手順6～8を行う

**手順2でLP2またはLP4ステレオ録音を選んだときは**
MDLPインジケーターが点灯し、「LP2」または「LP4」と表示されます。

### MDLP録音時に、曲名の最初に「LP：」を付けるには

MDLP未対応機器で再生しようとすると表示されます。再生できないことが一目で分かるため便利です。出荷時はONに設定されています。

1. 停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す。
2. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
3. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「LPstamp Off」（または「LPstamp On」）を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
4. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「LPstamp On」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
5. MENU/NOを押す。

曲名の最初に「LP：」が付かないようにするには、手順4で「LPstamp Off」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押します。

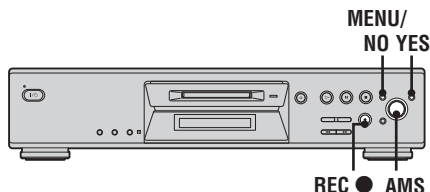


次のページへつづく

**ご注意**

- 記録された「LP：」は、MDLP未対応機器で再生しようとしたときに、再生できないことを表示する確認用のスタンプです。再生可能なMDLP対応機器では表示されません。
- ONに設定すると曲名として記録されるため、1枚のMDに入力できる文字数は少なくなります。また、DIVIDE機能を使って曲を分けると、後の方の曲にも「LP：」が付きます。
- 録音が終わっても、録音モードの設定は残っています。録音する前に、録音モードを確認してください。
- MDLP録音したMDを再生するときは、MDLP対応機器を使ってください。それ以外の機器で再生することはできません。
- 録音中に録音モードを変えることはできません。
- 録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声（ステレオ信号録音時はステレオ音声）が聞こえます。
- S.F EDITなど、使用できないMD編集機能が一部あります。

# 録音中に曲番を付ける（トラックマーキング）

自分で付ける方法と、自動的に付ける方法の2通りがあります。曲番を付けると、曲の頭出しや編集操作をするときに便利です。

## 自分で付ける（マニュアルトラックマーキング）

### 録音中に、曲番を付けたいところでREC ●を押す

## 自動で付ける（オートトラックマーキング）

CDまたはMDをデジタル録音するときは、音源のCDまたはMDと同じ曲番が自動的に付きます。
その他の音源をデジタル録音するとき、または音源の種類にかかわらずアナログ録音をするときに自動で曲番を付けるためには、以下の設定を行います。ただし、テープやラジオなどの音源で雑音が多い場合、自動で曲番を付けることはできません。

### 1　停止中に、MENU/NOを押す

## 2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

## 3 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「T.Mark LSyn」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

## 4 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）設定を選び、AMSつまみまたはYESを押す

| オートトラックマーキングを選ぶ設定 | 選ぶ設定 |
|---|---|
| 働かせる | T.Mark LSyn（初期設定） |
| 働かせない | T.Mark Off |

「T.Mark LSyn」を選ぶと、L.SYNCが点灯します。

## 5 MENU/NOを押す

### オートトラックマーキングの基準になる入力信号のレベルを設定するには

ここで設定したレベル以下の信号入力が1.5秒以上続いたあとで、再び設定レベル以上の信号が入力されたときに新しい曲番が付きます。

1. 停止中に、MENU/NOを押す。
2. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
3. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「LS(T)」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
4. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）入力信号のレベルを選び、AMSつまみまたはYESを押す。
   –72dB～0dB（2dB単位）の範囲で選びます。出荷時は–50dBに設定されています。
5. MENU/NOを押す。

### 曲番の付きかたの補足情報

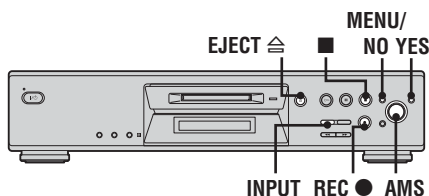
- CDまたはMDをデジタル録音するとき
  以下の場合は録音した部分全体に対して1つしか曲番が付かないことがあります。
  — 1曲リピートなどで同じディスクのある1曲をくり返したものを録音したとき
  — 違うディスクの同じ曲番を続けて録音したとき
  — 一部のCDプレーヤーまたはマルチディスクプレーヤーから録音したとき
  いずれの場合も、録音後に曲を分けてください（30ページ）。
- 録音した曲が4秒以下（ステレオ、LP2ステレオ、モノラル録音時）、または8秒以下（LP4ステレオ録音時）のときは曲番が付かないことがあります。
- オートトラックマーキングの設定をせずにアナログ音源から録音するとき、またはDATや衛星放送をデジタル録音するとき録音した部分全体が1曲として扱われるため、全体に対して1つしか曲番が付きません。
- DATや衛星放送をデジタル録音しているとき
  入力信号のサンプリング周波数が変わると、オートトラックマーキングの設定にかかわらず新しい曲番が自動的に付きます。

### 録音後に曲番を付けることもできます。

詳しくは、「曲を分ける」（30ページ）をご覧ください。

### ご注意

- 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしても、オートトラックマーキングの設定は記憶されています。
- 「T.Mark LSyn」をOFFにしても、スマートスペース、オートカットがONのときは曲番が付くことがあります。スマートスペース・オートカットもOFFにすると、曲番は付きません。

# 録音するときに便利な機能

## 録音中の無音部分を自動的に消す（スマートスペース/オートカット）

録音中に入力信号が途切れたときに、録音されてしまった無音部分を自動的に消すことができます。入力信号が途切れた長さによって、本機の動作は変わります。

### スマートスペース

信号が途切れてから30秒以内にふたたび入力されると、録音された無音部分は曲間の約3秒を残して自動的に消され、そのまま録音が続きます。この機能が働いているとき、「Smart Space」と表示されます。

### オートカット

信号が途切れてから30秒以上経つと、録音された無音部分は曲間の約3秒を残して自動的に消され、録音一時停止状態になります。この機能が働いているとき、「Auto Cut」と表示されます。

スマートスペースとオートカットの働きを設定するためには、以下の手順を行います。

1. 停止中に、MENU/NOを押す。
2. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
3. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「S.Space On」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
4. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）設定を選び、AMSつまみまたはYESを押す。

| スマートスペースとオートカットを | 選ぶ設定 |
|---|---|
| 自動的に働かせる | S.Space On（初期設定） |
| 働かせない | S.Space Off |

5. MENU/NOを押す。

**ご注意**

- 信号が入力されていない状態で録音を始めると、設定にかかわらずスマートスペースとオートカットは働きません。
- スマートスペースが働いた前後で曲番が変わらないことがあります。
- スマートスペースとオートカットの設定は共通です。どちらか一方だけを働かせることはできません。
- 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしても設定は記憶されています。
- オートカットによる録音一時停止状態が約10分間続くと、録音は自動的に停止します。

### 入力されている音をモニターする（ソースモニター）

録音せずに、各入力端子からの信号をモニターできます。

**1** EJECT ⏏を押して、MDを取り出す

**2** INPUTをくり返し押して、モニターしたい音源を選ぶ

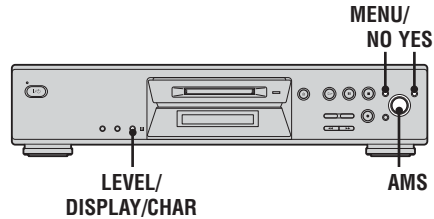
**3** REC ●を押す

- INPUTで「A-IN」を選んでいるとき
  アナログ入力端子から入力された信号が、D/A変換されてアナログ出力端子から出力されます。
  このとき、「AD - DA」と表示されます。
- INPUTで「D-IN」を選んでいるとき
  デジタルオプチカル入力端子から入力された信号が、D/A変換されてアナログ出力端子から出力されます。
  このとき、「- DA」と表示されます。

**ソースモニターを止めるには**

■を押す。

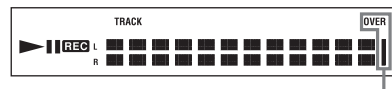
# 録音レベルを調節する

必要に応じて、録音レベルを調節できます。

**1** 「録音する」（11ページ）の手順1～6を行う

**2** 音源の再生レベルが一番高い部分（音が一番大きい部分）を再生する

**3** LEVEL/DISPLAY/CHAR（リモコンのDISPLAY）をくり返し押して、入力信号のレベル表示にする

**4** AMSつまみを回して（リモコンのLEVEL ＋/–をくり返し押して）録音レベルを調節する

再生レベルが一番高いときに、ピークレベルメーターの「OVER」が常に点灯した状態にならないように調節します。

ここが常に点灯しないように調節

次のページへつづく

## 5 録音したい音源の再生を止める

## 6 このまま録音を始めるときは、「録音する」（11ページ）の手順8以降を行う

**リモコンでも録音レベルを調節できます。**
録音中または録音一時停止中に、LEVEL +/–をくり返し押す。

**録音レベルを初期値に戻すことができます。**
手順4でAMSつまみを回すかわりにCLEARを押すと、初期値に戻ります。

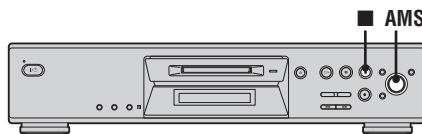
**ピークホールド機能を使うことができます。**
入力信号のレベルが一番高くなったときのピークレベルメーターの状態を、そのレベルを超える信号が入力されるまで止めて表示させることができます。

1 停止中に、MENU/NOを押す。
2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
3 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「P.Hold Off」（初期設定）を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
4 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「P.Hold On」を選び、AMSつまみまたはYESを押す。
5 MENU/NOを押す。

ピークホールド機能をやめるときは、手順4で「P.Hold Off」を選びます。

**ご注意**
アナログ録音では+12.0dB、デジタル録音では+18.0dBまでしか音量を上げることはできません。接続している機器の出力レベルが低い場合、録音レベルを最大にすることができないことがあります。

# 6秒前の音から録音する（タイムマシン録音）

録音待機状態になると、本機は音源からの音をメモリーに蓄え始め、その時点から最高約6秒前までの音を常に蓄えています。タイムマシン録音のとき、本機は音源からの音ではなく、音源からメモリーに蓄えられた音を録音していきます。衛星放送やFMから録音するときに、タイミングを逃して録音の最初が欠けるのを防ぐことができます。

## 1 「録音する」（11ページ）の手順1～6を行う

## 2 録音したい音源の再生を始める

## 3 録音を始めたいところで、AMSつまみ（リモコンのT.REC）を押す

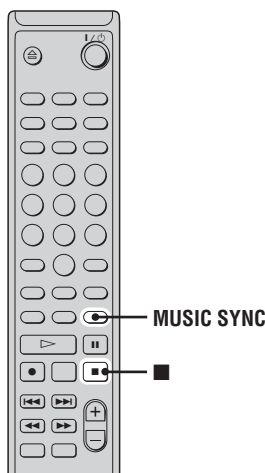
押した時点でメモリーに蓄えられている音を録音し始め、その後もメモリーの音を使って録音を続けます。

### タイムマシン録音を止めるには

■を押す。

**ご注意**
上記の手順3の時点でメモリーに蓄えてあった音を使って録音が始まります。録音待機状態や音源の再生が6秒以下だったときは、メモリーに6秒間分の音は蓄えられていませんので、6秒前の音を録音できません。

# 好きな音源とシンクロ録音する（ミュージックシンクロ録音）

入力端子に接続された音源の再生と同時に録音を始めることができます。曲番の付きかたは、録音する音源によって異なります。詳しくは、「録音中に曲番を付ける」（14ページ）をご覧ください。

**1** 「録音する」（11ページ）の手順1～5を行う

**2** MUSIC SYNCを押す

録音待機状態になります。

**3** 録音したい音源の再生を始める

自動的に録音が始まります。

### ミュージックシンクロ録音を止めるには

■を押す。

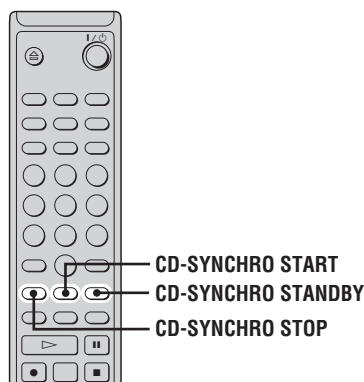
### ご注意

ミュージックシンクロ録音中は、スマートスペースとオートカット（16ページ）が自動的に働きます。

# ソニー製CDプレーヤーとシンクロ録音する（CDシンクロ録音）

ソニー製のCDプレーヤーから録音するときに、本機のリモコンでCDプレーヤーを操作して、簡単にシンクロ録音できます。本機のリモコンで本機とCDプレーヤーの両方を操作しますので、CDプレーヤーは本機の近くに置いてください。

### ご注意

一部のCDプレーヤーでは、本機のリモコンでCDシンクロ録音ができないことがあります。この場合は、ミュージックシンクロ録音（19ページ）を使って、CDプレーヤーと本機のシンクロ録音をしてください。

1. 録音したい音源とシステムステレオ（またはアンプ）の電源を入れ、「CD」を選ぶ。
2. 「録音する」の手順3～5（11ページ）を行う。
3. CDプレーヤーにCDを入れ、再生方法を選ぶ。
4. CD-SYNCHRO STANDBYを押す。
   CDプレーヤーは再生一時停止、本機は録音待機状態になります。

次のページへつづく

**5** CD-SYNCHRO STARTを押す。
本機は録音を始め、CDプレーヤーは再生を始めます。
録音中は、録音中の曲番とその曲の経過時間が表示されます。

**CDプレーヤーの再生が始まらないときは**
一部のCDプレーヤーでは、CD-SYNCHRO STARTを押しても再生が始まらないことがあります。CDプレーヤーに付属のリモコンの❚❚を押して再生を始めます。

## CDシンクロ録音中の操作

| こんなときは | 操作 |
|---|---|
| 録音を止める | CD-SYNCHRO STOPを押す。 |
| 録音を一時停止する | CD-SYNCHRO STANDBYを押す。 |
| 一時停止した録音を再開する | CD-SYNCHRO STARTを押す。 |

### CDプレーヤーに付属のリモコンでも操作できます。

| 押すボタン | 本機の動作 | CDプレーヤーの動作 |
|---|---|---|
| ▷ | 録音 | 再生 |
| ■ | 録音一時停止 | 停止 |
| ❚❚ | 録音一時停止 | 一時停止 |

### 曲番の付きかた

- CDプレーヤーをデジタルオプチカル入力端子に接続しているときは、CDと同じ曲番が自動的に付きます。
- CDプレーヤーをアナログ入力端子に接続しているときは、オートトラックマーキングの設定で曲番を自動で付けることができます（14ページ）。
- 録音を一時停止したあとで再開すると、オートトラックマーキングの設定にかかわらず曲番が変わります。

### 録音中にCDを取りかえることができます。

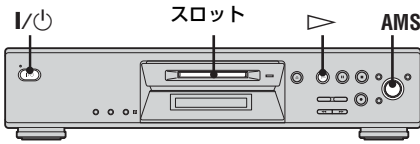
**1** CDプレーヤーに付属のリモコンの■を押す。
**2** CDを取りかえる。
**3** CDプレーヤーに付属のリモコンの▷を押す。
録音が再開します。

### ビデオCDプレーヤーとシンクロ録音することもできます。

本機のリモコンのI/⏻（電源）スイッチを押しながら数字ボタンの2を押すと、ビデオCDプレーヤーとのシンクロ録音が可能になります。
CDプレーヤーとのシンクロ録音をする状態に戻すときは、I/⏻（電源）スイッチを押しながら数字ボタンの1を押します。

### ご注意

- モードセレクター付きのCDプレーヤーとシンクロ録音するときは、CDプレーヤーのモードセレクターを「CD1」に合わせてください。
- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーとシンクロ録音したとき、録音した部分全体に対して1つしか曲番が付かないことがあります。

# 再生する

**1** システムステレオ（またはアンプ）の電源を入れる

**2** システムステレオ（またはアンプ）の入力切り換えで「MD」を選ぶ

**3** 本機のI/⏻（電源）スイッチを押して電源を入れる

STANDBYランプが消灯します。

**4** MDを入れる

**5** 途中の曲から再生を始めたいときは、AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）曲番を選ぶ

1曲目から再生を始めるときは、この手順は不要です。手順6に進んでください。

**6** ▷を押す

再生が始まります。

**7** システムステレオ（またはアンプ）で音量を調節する

### 再生中の基本操作

| こんなときは | 操作 |
|---|---|
| 再生を止める | ■を押す。 |
| 再生を一時停止する | ❚❚を押す。もう一度押すまたは▷を押すと、再生を再開します。 |
| 1曲先へ進む | AMSつまみを右へ回す（リモコンの⏭を押す）。 |
| 再生中の曲の頭または1曲前に戻る | AMSつまみを左へ回す（リモコンの⏮を押す）。 |
| MDを取り出す | 再生を止めたあと、EJECT ⏏を押す。 |

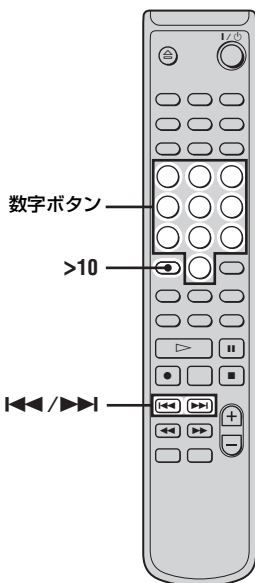
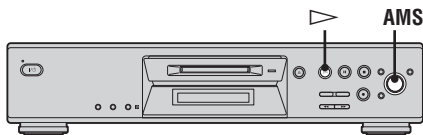
**LP2またはLP4ステレオ録音したMDを再生すると**

上記の手順5で曲番を選ぶと、MDLPインジケーターが点灯します。

**再生中に、曲名を確認できます（曲名が付いているときのみ）。**

SCROLLを押すと曲名が表示され、スクロールします。
スクロール中にもう一度押すとスクロールは止まり、さらにもう一度押すと再びスクロールします。

# 再生したい曲を選ぶ

再生中、停止中または一時停止中に、次に再生したい曲を選んで頭出しすることができます。

## AMS*を使って探す

| 探しかた | 操作 |
|---|---|
| 再生中に次の曲を頭出しする（AMS） | AMSつまみを右へ回す（リモコンの⏭をくり返し押す）。 |
| 再生中に前の曲を頭出しする（AMS） | AMSつまみを左へ回す（リモコンの⏮をくり返し押す）。 |
| 再生中の曲の頭に戻る（AMS） | AMSつまみを左へ回す（リモコンの⏮を1回押す）。 |
| 停止中に曲番表示を見ながら選ぶ | **1** 聞きたい曲が表示されるまでAMSつまみを回す（リモコンの⏮/⏭をくり返し押す）。<br>**2** AMSつまみまたは▷を押す。 |

* Automatic Music Sensor

**最後の曲をすばやく選ぶことができます。**
停止中に、AMSつまみを左に回す（リモコンの⏮を1回押す）。

**停止中または一時停止中に曲を選ぶと**
頭出ししても停止または一時停止状態のままです。

## ダイレクト選曲で選ぶ

曲番を数字ボタンで入力する。

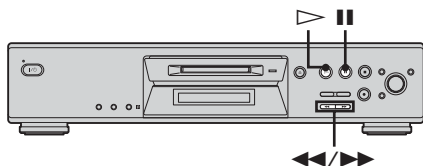
### 11曲目以降を入力するには

**1** >10を押す。
MDに入っている曲数と同じ桁数の「-」が点滅します。

**2** 数字ボタンを使って、100の位、10の位、1の位に順番で曲番を入力する。0を入力するときは10/0を押す。
例：50曲入っているMDの30曲目を選ぶとき
>10 → 3 → 10/0
200曲入っているMDの30曲目を選ぶとき
>10 → 10/0 → 3 → 10/0

**一時停止中に曲番を入力すると**
入力した曲の頭で一時停止状態になります。

# 再生したい部分を探す

再生中または一時停止中に、曲の中の聞きたい部分を選ぶことができます。

## 聞きながら探す（サーチ）

**再生中、◀◀/▶▶を押したままにする。**
再生音が断続的に聞こえます。
聞きたい部分に近づいたら、ボタンをはなします。

**ご注意**

- 聞きながら探しているときに最後の曲の終わりまで進むと、再生は止まります。
- 極端に短い曲が連続している部分は、正常にサーチできない場合があります。

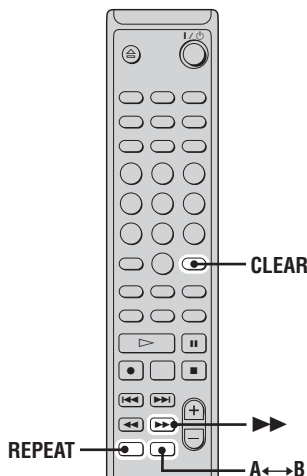
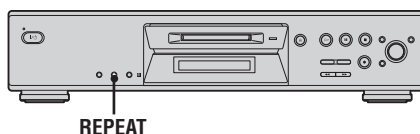
## 時間表示を見ながら探す（高速サーチ）

**一時停止中、◀◀/▶▶を押したままにする。**
再生音は聞こえません。
聞きたい部分に近づいたらボタンをはなし、▷または❚❚を押します。

**高速サーチ中に「– Over –」と表示されたときは**

最後の曲の終わりまで進んでいます。本体のAMSつまみを左に回す（リモコンの⏮を押す）か◀◀を押します。

# くり返し再生する（リピート再生）

MDの全曲をくり返し再生します。シャッフル再生やプログラム再生を選んだ状態でも、くり返し再生できます。また、ある1曲だけをくり返したり、1曲中のある部分だけをくり返すこともできます。

**ご注意**

全曲リピートと1曲リピートのどちらを選んでいたかは、MDを取り出したり、本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしても記憶されています。ただし、A-Bリピートの設定は、停止したり、MDを取り出したり、本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりすると消去されます。

## 全曲をくり返す（全曲リピート）

**「REP」が点灯するまで、REPEATをくり返し押す。**

MDを再生すると、全曲リピートが始まります。

選ばれている再生のしかたによって、くり返しかたが変わります。

| 選ばれている再生 | くり返しかた |
|---|---|
| ふつうの再生（21ページ） | 全曲を順番に再生する。 |
| シャッフル再生（25ページ） | くり返すたびに曲順が変わる。 |
| プログラム再生（25ページ） | プログラムの曲順に再生する。 |

### 全曲リピートを止めるには

■を押す。

### ふつうの再生に戻すには

「REP」または「REP1」が消えるまで、REPEATをくり返し押す。

## 1曲だけをくり返す（1曲リピート）

**くり返したい曲の再生中に、「REP1」が点灯するまでREPEATをくり返し押す。**

1曲リピートが始まります。

### 1曲リピートを止めるには

■を押す。

### ふつうの再生に戻すには

「REP」または「REP1」が消えるまで、REPEATをくり返し押す。

## 1曲中のある部分だけをくり返す（A-Bリピート）

1曲中で聞きたい部分を指定し、そこだけをくり返し聞くことができます。2曲以上にまたがる部分を指定することはできません。

**1** 再生中に、くり返したい部分の始点（A点）でA↔Bを押す。
「REP A-」が点灯し、「B」が点滅します。

**2** そのまま再生を続けて（または▶▶を押して）くり返したい部分の終点（B点）まで進み、A↔Bを押す。
「REP A-B」が点灯し、A-Bリピートが始まります。

### A-Bリピートを止めてふつうの再生に戻すには

REPEATまたはCLEARを押す。

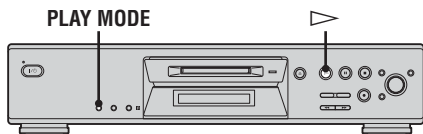
**くり返す部分を先に進めることができます。**

今くり返している部分の終点を始点に変え、新たに終点を指定します。

**1** A-Bリピート中に、A↔Bを押す。
今の終点が始点（A点）に変わります。
「REP A-」が点灯し、「B」が点滅します。

**2** 新たに指定したい終点（B点）まで進み、A↔Bを押す。
「REP A-B」が点灯し、新たに指定した部分のA-Bリピートが始まります。

# ランダムに再生する（シャッフル再生）

順不同に全曲を1回ずつ再生します。

**1** 停止中に、「SHUF」が点灯するまでPLAY MODEをくり返し押す

**2** ▷を押す

シャッフル再生が始まります。
次に再生する曲が決まる間は、⊡が表示されます。

### ふつうの再生に戻すには

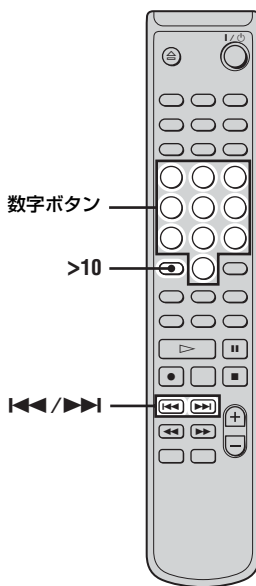
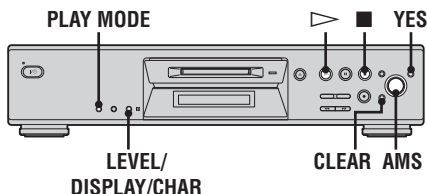
停止中に、「SHUF」または「PGM」が消えるまでPLAY MODEをくり返し押す。

**次に再生する曲を頭出しできます。**

AMSつまみを回す（リモコンの⏮/⏭を押す）。右に回す（⏭を押す）と次に再生する曲の頭出しをし、左に回す（⏮を押す）と再生中の曲の頭に戻ります。すでに再生が終わった曲には戻りません。

# 聞きたい曲を好きな順番で再生する（プログラム再生）

聞きたい曲だけを25曲までプログラムして再生できます。

MDを再生する

## プログラムして再生する

**1 停止中に、「PGM」が点灯するまでPLAY MODEをくり返し押す**

**2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）プログラムしたい曲番を選び、AMSつまみまたはYESを押す**

プログラムした曲数（Step数）が表示されたあと、最後に合計時間が表示されます。

**💡数字ボタンで曲番を直接入力できます。**

MDの11曲目以降を選ぶときは、>10を使います（22ページ）。

**3 手順2をくり返して、聞きたい曲を順にプログラムする**

**4 ▷を押す**

プログラム再生が始まります。

### プログラム再生を止めるには

■を押す。

### プログラムした曲数を確認するには

停止中にLEVEL/DISPLAY/CHAR（リモコンのDISPLAY）を押す。

### プログラムした曲順を確認するには

▷を押して再生を始め、再生中にAMSつまみを回す（リモコンの⏮/⏭をくり返し押す）。

### プログラムの内容を消すには

停止中にCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

### プログラムに曲を追加するには

停止中に手順2を行う。プログラムの最後に曲が追加されます。

### ふつうの再生に戻すには

停止中に、「PGM」または「SHUF」が消えるまでPLAY MODEをくり返し押す。

**💡再生が終わっても、プログラムは残っています。**

▷を押すと、プログラムの最初から再び再生します。再生を途中で止めても、プログラムは消えません。

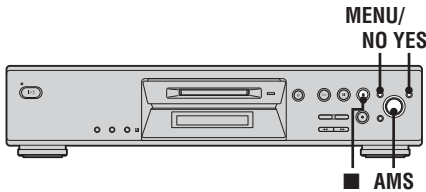
**ご注意**

- MDを取り出すと、プログラムは消えます。
- プログラムの合計時間が1000分を超えると、「- - - m - - s」と表示されます。
- 26曲目をプログラムしようとすると「Step Full!」が表示されます。

# 編集の前にお読みください

## 編集操作に共通して使うボタン

以下のボタンは、曲を消す、分ける、移動する、つなぐときに共通で使うことができます。

**ご注意**
曲やディスクに名前を付けるときは、以下のボタンのはたらきは変わります。詳しくは、「曲やディスクに名前を付ける」（33ページ）をご覧ください。

AMSつまみ：回して希望の編集操作や曲番を選び、押して確定します。また、曲の一部を消したり、曲を分けたりする部分を指定するときにも使います。

MENU/NO：押すと、「Edit Menu」が表示され、編集操作を選べます。編集操作中に押すと、編集を途中で取り消します。

YES：AMSつまみを押すかわりに使えます。

各ボタンの働きについて詳しくは、それぞれの編集操作のページをご覧ください。

## 編集をはじめる前に

MDの編集をするには、
- MDが書き込み可能な状態になっている
- MDの再生モードがふつうの再生になっていることが必要です。

## 編集時の表示について

### 「C11/Protected」が表示されるとき

MDの誤消去防止孔が開いているので、編集できません。つまみをずらして孔を閉じてください。詳しくは、「録音の誤消去を防ぐには」（11ページ）をご覧ください。

### 「Tr Protected」が表示されるとき

曲が保護されているため一部操作できない編集機能があります。

### 「Cannot Edit」が表示されるとき

シャッフル再生またはプログラム再生になっているため編集できません。「SHUF」または「PGM」表示を消してください（25、26ページ）。

## 編集後の表示について

### 「TOC」が点灯しているとき

編集した内容はまだMDに記録されていません。「TOC」が点灯しているときに電源プラグをコンセントから抜かないでください。編集した内容をMDに記録できなくなります。MDを取り出そうとしたとき、または本機の電源を切ろうとしたときに編集した内容はMDに記録されます。

### 「TOC Writing」が点滅しているとき

編集した内容をMDに記録しています。このとき、電源プラグをコンセントから抜いたり、本体をゆらしたりしないでください。編集した内容が正しく記録されない場合があります。

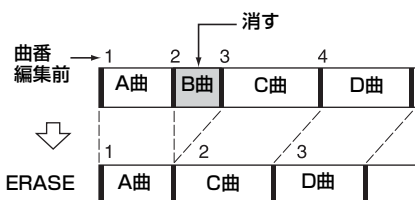
# 曲を消す（ERASE）

消したい曲番を選ぶだけで、録音した曲を簡単に消せます。

消したすぐ後ならUNDO機能を使って元に戻せますが、他の編集などをしてからでは元に戻せないので、よく確認してから消してください。

## 1曲ずつ消す（Track Erase）

曲番を指定して消します。

**例）2曲目を消す**

曲を消すと曲番は自動的に振り直されます。たとえば、2曲目を消すと、元の3曲目以降のすべての曲番がくり上がります。

**1** **停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す**

「Edit Menu」が表示されます。

**2** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Tr Erase?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

曲番が表示されている曲の再生が始まります。

**3** **消したい曲の曲番が表示されるまで、AMSつまみを回す（リモコンの⏮/⏭をくり返し押す）**

**4** **AMSつまみまたはYESを押す**

「Complete!」と数秒間表示されて消えると、手順3で選んだ曲が消えて、次の曲の再生が始まります。
最後の曲を消したときは、消した前の曲の再生が始まります。

### 曲を消すのを途中でやめるには

MENU/NOまたは■を押す。

### 2曲以上消すときは

途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをおすすめします。

## 全曲を一度に消す（All Erase）

MDのすべての曲とともに、ディスク名も消えます。

**1** **停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す**

「Edit Menu」が表示されます。

**2** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「All Erase?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

「All Erase??」と表示されます。

**3** **AMSつまみまたはYESを押す**

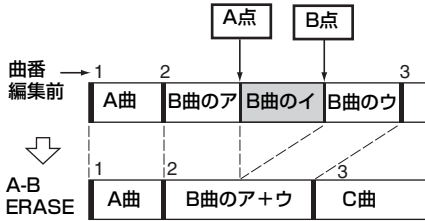
「Complete!」と数秒間表示されて消えると、MDのすべての曲とディスク名が消えます。

### 曲を消すのを途中でやめるには

MENU/NOまたは■を押す。

## 曲の一部を消す（A-B Erase）

1曲中の消したい範囲を指定して、簡単にその部分を消すことができます。
衛星放送やFM放送などを録音したあとで、不要な部分だけを消すのに便利です。

**例）B曲の一部を消すとき**

### 1 停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す

「Edit Menu」が表示されます。

### 2 AMSつまみを回して（リモコンの|◀◀/▶▶|をくり返し押して）「A-B Erase?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

再生が始まります。

### 3 一部分を消したい曲の曲番が表示されるまで、AMSつまみを回す（リモコンの|◀◀/▶▶|をくり返し押す）

### 4 再生音を聞きながら、消したい部分の始点（A点）でAMSつまみまたはYESを押す

「-Rehearsal-」と「Point A ok?」が交互に表示され、A点までの数秒間をくり返し再生します。

### 5 A点を正しく再生していたら、もう一度AMSつまみまたはYESを押す

「Point B set」が表示され、B点を設定するための再生が始まります。

**A点を正しく再生していないとき**
くり返し再生される音を聞きながらAMSつまみを回して（リモコンの|◀◀/▶▶|をくり返し押して）A点を調節し、AMSつまみまたはYESを押します。
1/86秒（1f（1フレーム））*ずつ位置をずらせます。

### 6 再生を続けて（または▶▶を押して）、消したい部分の終点（B点）まできたらAMSつまみまたはYESを押す

「A-B Ers」と「Point B ok?」が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分（A点までの数秒間とB点からの数秒間）をくり返し再生します。

### 7 B点を正しく再生していたら、もう一度AMSつまみまたはYESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて消えると、A点からB点の間が消えて、曲の頭から再生が始まります。

**B点を正しく再生していないとき**
くり返し再生される音を聞きながらAMSつまみを回して（リモコンの|◀◀/▶▶|をくり返し押して）B点を調節し、AMSつまみまたはYESを押します。
1/86秒（1f（1フレーム））*ずつ位置をずらせます。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置をずらせます。



次のページへつづく

**フレーム／秒／分の単位を切り換えることができます。**

手順5または手順7で、秒、分単位でA点またはB点をずらしたいときは、◀◀/▶▶をくり返し押します。AMSつまみを回したとき（リモコンの⏮/⏭をくり返し押したとき）に進む単位を切り換えることができます。

### 曲の一部を消すのを途中でやめるには

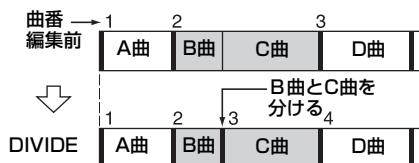
MENU/NOまたは■を押す。

**ご注意**

「Impossible」が表示されたときは、その曲の一部を消すことはできません。何度も編集をくり返すと、曲の一部を消すことができなくなる場合がありますが、これはMDのシステム上の制約です。故障ではありません。

# 曲を分ける（DIVIDE）

複数の曲に曲番が1つしか付かずに録音され、それぞれの曲に曲番を付けたいときや、曲の途中で頭出し点を作りたいときに使います。分けた曲以降の曲番は、頭から順に付け直されます。

**例）2曲目を2つに分ける**

## 曲を選んで分ける位置を決める

**1** **停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す**

「Edit Menu」が表示されます。

**2** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Divide?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

再生が始まります。

**3** **分けたい曲の曲番が表示されるまで、AMSつまみを回す（リモコンの⏮/⏭をくり返し押す）**

## 4 再生音を聞きながら、曲を分けたい位置でAMSつまみまたはYESを押す

「-Rehearsal-」が表示され、AMSつまみまたはYESを押した位置までの数秒間をくり返し再生します。

## 5 曲を分ける位置を正しく再生していたら、もう一度AMSつまみまたはYESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて消えると、曲が分かれ、分かれて新しくできた曲の再生が始まります。新しくできた曲に名前は付いていません。

**正しく再生していないとき**

くり返し再生される音を聞きながらAMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）曲を分ける位置を調節し、AMSつまみまたはYESを押します。

1/86秒（1f（1フレーム））*ずつ位置をずらせます。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置をずらせます。

**💡フレーム／秒／分の単位を切り換えることができます。**

手順5で、秒、分単位で曲を分ける位置をずらしたいときは、◀◀/▶▶をくり返し押します。AMSつまみを回したとき（リモコンの⏮/⏭をくり返し押したとき）に進む単位を切り換えることができます。

### 曲を分けるのを途中でやめるには

MENU/NOまたは■を押す。

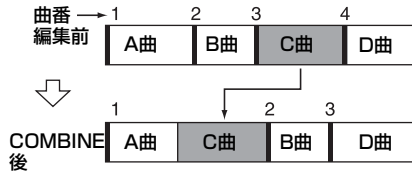
**💡録音中に曲を分けられます。**

トラックマーキングを使います（14ページ）。

# 曲をつなぐ（COMBINE）

2つの曲をつないで1曲にまとめます。離れた曲をつなぐこともできます。また、曲順が後ろの曲に前の曲をつなぐこともできます。いくつかの曲や、何度も停止してコマ切れで録音したものを1曲にまとめたりするときなどにお使いください。曲をつなぐと、曲番は自動的に振り直されます。

不要な曲番を消すときにも使います。

**例：1曲目に3曲目をつなぐ**

つなぐ前の曲の名前が、つながってできた曲の名前になります。

## 1 停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す

「Edit Menu」が表示されます。

## 2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Combine?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

MD を編集する

次のページへつづく

## 3 つなぐ前の曲の曲番が表示されるまでAMSつまみを回し（リモコンの⏮/⏭をくり返し押し）、AMSつまみまたはYESを押す

後ろの曲を選ぶ表示になり、つなぎ目の部分（つなぐ前の曲の終わりと後ろの曲の始めの数秒間）をくり返し再生します。

## 4 つなぐ後ろの曲の曲番が表示されるまでAMSつまみを回し（リモコンの⏮/⏭をくり返し押し）、AMSつまみまたはYESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて消えると、選んだ曲がつながり、できた曲の頭から再生が始まります。

### 曲をつなぐのを途中でやめるには

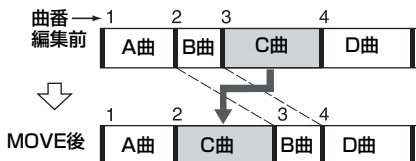
MENU/NOまたは■を押す。

### ご注意

- 録音モード（ステレオ、LP2ステレオ、LP4ステレオ、モノラル）が同じ曲としかつなぐことができません。
- 「Impossible」が表示されたときは、その2曲をつなぐことはできません。何度も編集をくり返すと、曲をつなげなくなる場合がありますが、これはMDのシステム上の制約です。故障ではありません。

# 曲を移動する（MOVE）

曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。
曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

**例）3曲目を2曲目に移動する**

## 1 停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す

「Edit Menu」が表示されます。

## 2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Move?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

## 3 移動したい曲の曲番が表示されるまでAMSつまみを回し（リモコンの⏮/⏭をくり返し押し）、AMSつまみまたはYESを押す

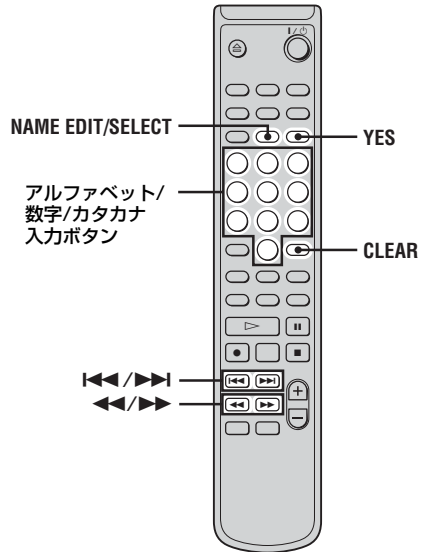
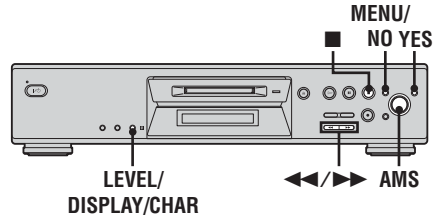
**4** 移動先の曲番が表示されるまでAMSつまみを回し（リモコンの⏮/⏭をくり返し押し）、AMSつまみまたはYESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて消えると、曲が移動し、移動した曲の再生が始まります。

### 曲を移動するのを途中でやめるには

MENU/NOまたは■を押す。

# 曲やディスクに名前を付ける（NAME）

アルファベットの大文字や小文字、数字、記号、カタカナを使って、曲やディスクに名前を付けることができます。1枚のディスクに合計で約1700文字まで入力できます。

### ご注意

- 1700文字入力できるのは、アルファベットと数字のみを入力した場合です。カタカナを入力すると、1文字あたりのデータ量が多くなるため、入力できる文字数は減ります。
- 本機は、漢字・ひらがな入力および表示に対応していません。ただし、すでにMDに記録されている漢字・ひらがなの情報は、本機で再生や録音をしてもそのまま保存されています。
- 録音中に曲名を付けるとき、曲名を付けている途中でその曲の録音が終わると、それまで入力していた文字は無効になり、曲名は付きません。改めて録音後に曲名を付けてください。

## 準備する

付けたい曲またはディスクを選ぶ。

### リモコンで選ぶ

- **曲名を付けるとき**
  曲番が表示されている状態で停止、再生、再生一時停止、録音中に、NAME EDIT/SELECTを押す。
- **ディスク名を付けるとき**
  全曲数が表示されている状態で停止しているときに、NAME EDIT/SELECTを押す。

カーソルが点滅し、文字を入力できるようになります。

### 本体で選ぶ

1. 停止、再生、録音、一時停止中にMENU/NOを押す。
   「Edit Menu」が表示されます。
2. AMSつまみを回して「Nm In?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
   録音中の曲に名前を付けるときは、この時点でカーソルが点滅し、文字を入力できるようになります。
3. AMSつまみを回して曲番（曲名を付けるとき）または「Disc」（ディスク名を付けるとき）を点滅させ、AMSつまみまたはYESを押す。
   カーソルが点滅し、文字を入力できるようになります。曲番を点滅させたときは自動的に再生が始まり、曲を確認しながら曲名が入力できます。

## 本体で名前を付ける

### 1 LEVEL/DISPLAY/CHARをくり返し押して、入力する文字の種類を選ぶ

| 文字の種類 | ボタンを |
|---|---|
| 大文字アルファベット | 「A」が表示されるまでくり返し押す。 |
| 小文字アルファベット | 「a」が表示されるまでくり返し押す。 |
| 数字 | 「0」が表示されるまでくり返し押す。 |
| 記号[1] | 「'」が表示されるまでくり返し押す。 |
| カタカナ[2] | 「ア」が表示されるまでくり返し押す。 |

1)以下の記号を表示できます。
' – / , . ( ) : ! ? & + < > _ = " ; # $ % @ * `
2)通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツ、および "(濁点)、゜(半濁点)を表示できます。

**1文字分空けるには**

カーソルが点滅しているときに、▶▶を押す。ただし、名前の最初の1文字を空けることはできません。

### 2 AMSつまみを回して入力したい文字を表示させる

文字が点滅します。

**点滅している文字を変更するには**

手順1～2をくり返す。

### 3 AMSつまみを押す

点滅していた文字が点灯し、確定します。カーソルが次の位置に移動し、再び点滅します。

## 4 手順1〜3をくり返して、文字をすべて入力する

**文字を変更するには**
◀◀/▶▶をくり返し押して変更したい文字を点滅させ、手順1〜3をくり返す。

**文字を消すには**
◀◀/▶▶をくり返し押して消したい文字を点滅させ、CLEARを押す。

## 5 YESを押す

ディスク名または曲名が、最初から表示されます。
「Complete!」と数秒間表示されて消えると、名前が付きます。

### 名前を付けるのを途中でやめるには

MENU/NOまたは■を押す。

**ご注意**

他のミニディスクでグループ機能を使って録音したMDの「ディスク名」は以下のように表示されます。
例）

0 ; Favorites // 1 – 5 ; Rock // 6 – 9 ; Pops // ...
①（0 ; Favorites）②（1 – 5 ; Rock // 6 – 9 ; Pops）

① ディスク名：「Favorites」
② グループ名：「Rock」「Pops」

本機はグループ機能に対応していないため、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。
**もし、「名前を付ける」の手順を行ってディスク名を書き換えると、そのMDではグループ機能が使えなくなる場合があります。**

## リモコンで名前を付ける

## 1 付けたい名前（曲名またはディスク名）によって、以下のように操作する

**曲名を付けるとき**
曲番が表示されている状態で停止、再生、再生一時停止、録音中に、NAME EDIT/SELECTを押す。

**ディスク名を付けるとき**
全曲数が表示されている状態で停止しているときに、NAME EDIT/SELECTを押す。
カーソルが点滅し、文字を入力できるようになります。

## 2 NAME EDIT/SELECTをくり返し押して、入力する文字の種類を選ぶ

| 文字の種類 | 選ぶ表示 |
|---|---|
| 大文字アルファベットまたは記号1) | 「Selected AB」 |
| 小文字アルファベットまたは記号1) | 「Selected ab」 |
| カタカナ2) | 「Selected ア」 |
| 数字 | 「Selected 12」 |

1)以下の記号を表示できます。
' – / , . ( ) : ! ?
2)通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツ、および "(濁点)、°(半濁点)を表示できます。

MDを編集する

次のページへつづく

## 3 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

**アルファベット／カタカナを選んだとき**

**1** 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を点滅させる。
⏮/⏭をくり返し押しても、文字を切り換えることができます。
記号を選ぶときは「A」を点滅させたあと、⏮をくり返し押します。

**2** ⏩を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

**数字を選んだとき**

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

## 4 手順2～3をくり返して、文字をすべて入力する

**文字を変更するには**

⏪/⏩をくり返し押して変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順2～3をくり返す。

## 5 YESを押す

ディスク名または曲名が、最初から表示されます。
「Complete!」と数秒間表示されて消えると、名前が付きます。

**名前を付けるのを途中でやめるには**

MENU/NOまたは■を押す。

## 名前を付け直す

## 1 付け直したい名前（曲名またはディスク名）によって、以下のように操作する

**曲名を付け直すとき**

曲番が表示されている状態で停止、再生、再生一時停止、録音中に、NAME EDIT/SELECTを押す。

**ディスク名を付け直すとき**

全曲数が表示されている状態で停止しているときに、NAME EDIT/SELECTを押す。
曲名またはディスク名が表示されます。

## 2 CLEARを押したままにして、表示された曲名またはディスク名をすべて消す

## 3 「本体で名前を付ける」の手順1～4（34ページ）または「リモコンで名前を付ける」の手順2～4（35ページ）を行って、名前を付け直す

## 4 YESを押す

ディスク名または曲名が、最初から表示されます。
「Complete!」と数秒間表示されて消えると、名前が付きます。

**名前を付け直すのを途中でやめるには**

MENU/NOまたは■を押す。

## 名前を消す

曲名やディスク名を指定して消します。

**1** **停止、再生、録音、一時停止中に、MENU/NOを押す**
「Edit Menu」が表示されます。

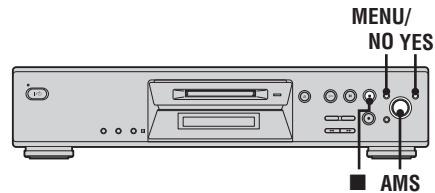
**2** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Nm Erase?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

**3** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）曲番（曲名を消すとき）または「Disc」（ディスク名を消すとき）を点滅させ、AMSつまみまたはYESを押す**
「Complete!」と数秒間表示されて消えると、名前が消えます。

**名前を消すのを途中でやめるには**
MENU/NOまたは■を押す。

# 録音後に録音レベルを変更する（S.F EDIT）

録音済みの曲の音声レベルを変更することができます。もとの曲は新しい録音レベルで上書きされます。また、録音済みの曲にフェードイン／フェードアウトを設定すると、曲の頭が次第に大きく再生される曲や、曲の最後が次第に小さく再生される曲を作ることができます。

**MDLP録音した曲の録音レベルを変更（S.F EDIT）することはできません。**

## 1曲全体の録音レベルを変更する

**1** **停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す**
「Edit Menu」が表示されます。

**2** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「S.F Edit?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

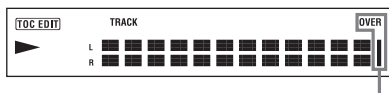
**3** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Tr Level?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**



次のページへつづく

**4** **録音レベルを変更したい曲番が表示されるまでAMSつまみを回し（リモコンの⏮/⏭をくり返し押し）、AMSつまみまたはYESを押す**

**5** **再生される音を聞きながら、AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）、録音レベルを変更する**

–12dBから＋12dBの範囲内（2dB単位）で変更できます。再生レベルが一番高いときに、ピークレベルメーターの「OVER」が常に点灯した状態にならないように調節します。

ここが常に点灯しないように調節

ここで、CLEARを押すと録音レベルは初期値に戻ります。

**6** **AMSつまみまたはYESを押す**

「S.F Edit OK?」が表示されます。

**7** **もう一度AMSつまみまたはYESを押す**

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「S.F Edit: ＊＊%」が表示されます。
曲の書き換えには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。書き換えが終わると、「Complete!」が数秒間表示されます。

## フェードイン／フェードアウトする曲を作る

**1** **停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す**

「Edit Menu」が表示されます。

**2** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「S.F Edit?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

**3** **AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Fade In?」または「Fade Out?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す**

**4** **フェードインまたはフェードアウトさせたい曲番が表示されるまでAMSつまみを回し（リモコンの⏮/⏭をくり返し押し）、AMSつまみまたはYESを押す**

「Time 5.0s」が表示されます。

## 5 再生される音を聞きながら、AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）、フェードインまたはフェードアウトする時間を調節する

フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し再生されます。
1秒から15秒の間（0.1秒単位）で調節できます。その曲の再生時間を超えた設定はできません。
また、CLEARを押すと初期値に戻ります。

## 6 AMSつまみまたはYESを押す

「S.F Edit OK?」が表示されます。

## 7 もう一度AMSつまみまたはYESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「S.F Edit: ＊＊%」が表示されます。
書き換えが終わると、「Complete!」が数秒間表示されます。

### S.F EDITを途中でやめるには

手順1～6でMENU/NOまたは■を押す。
手順7でAMSつまみまたはYESを押して書き換えが始まると、操作を途中でやめることはできません。

**ご注意**

- 曲の書き換え中に本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損し、正しく記録されません。
- LP2またはLP4ステレオ録音した曲は、S.F EDITは使えません。
- 傷や汚れのあるディスクは使用しないでください。録音情報が正しく記録されないことがあります。
- S.F EDITを使って何度も変更すると音質が劣化します。
- S.F EDITを使って変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の録音レベルには戻りません。
- タイマー使用中は、S.F EDITは使えません。
- S.F EDITを使って変更した曲は、UNDO機能を使って、元の状態に戻すことはできません。

# 最後の編集操作を取り消す（UNDO）

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消すことができなくなるのでご注意ください。

- 他の編集操作をする。
- 録音の操作をする。
- 電源を切ったり、MDを取り出したりして、編集内容を記録する。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- リモコンのMUSIC SYNCを押す。

また、S.F EDITを使った編集は、UNDO機能を使っても、元の状態に戻すことはできません。

**1** 停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す

「Edit Menu」が表示されます。

**2** AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Undo?」を表示させる

編集操作を行っていないときは、「Undo?」は表示されません。

**3** AMSつまみまたはYESを押す

最後に行った編集操作に応じて、次のようなメッセージが表示されます。

| 最後の編集操作 | 表示 |
|---|---|
| 1曲ずつ消す | Erase Undo? |
| 全曲を一度に消す | |
| 曲の一部を消す | |
| 曲を分ける | Divide Undo? |
| 曲をつなぐ | CombineUndo? |
| 曲を移動する | Move Undo? |
| 曲やディスクに名前を付ける | Name Undo? |
| 名前を付け直す | |
| 名前を消す | |

**4** もう一度AMSつまみまたはYESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて消えると、MDは編集前の内容に戻ります。

### 編集操作を取り消すのを途中でやめるには

MENU/NOまたは■を押す。

# フェードイン／フェードアウトを使う

音量を徐々に大きくして録音を始めたり（フェードイン録音）、徐々に小さくして録音を終えたり（フェードアウト録音）することができます。

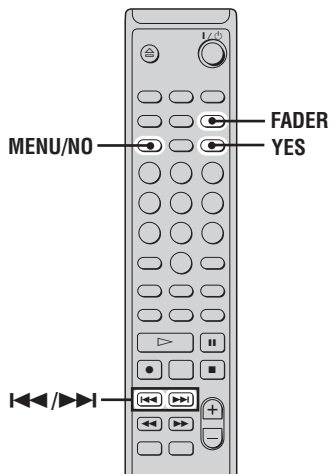
## フェードイン録音

**録音一時停止中に、フェードインを始めるところで、FADERを押す**

フェードイン中は「◀」が点滅します。カウンターが「0.0s」になるまで5秒間（初期値）フェードインします。

## フェードアウト録音

**録音中に、フェードアウトを始めるところで、FADERを押す**

フェードアウト中は「▶」が点滅します。カウンターが「0.0s」になるまで5秒間（初期値）フェードアウトします。フェードアウトが終わると、自動的に録音一時停止します。

**フェード時間を変えることができます。**

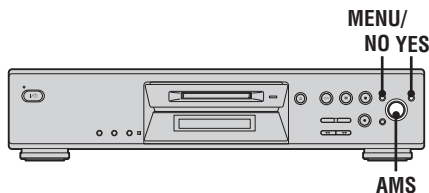
フェードインする時間とフェードアウトする時間は別々に設定できます。

1. 停止、再生、一時停止中に、MENU/NOを押す。
2. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。
3. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）設定を選び、AMSつまみまたはYESを押す。

| 時間を変える先 | 選ぶ設定 |
|---|---|
| フェードイン録音 | F.in |
| フェードアウト録音 | F.out |

4. AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）フェードの時間を設定し、AMSつまみまたはYESを押す。
   フェードイン、フェードアウトの時間とも、1秒から15秒の間（0.1秒単位）で設定できます。
5. MENU/NOを押す。

# スリープタイマーを使う

指定した時間がたつと、本機の電源は自動的に切れます。

## 1 停止中または再生中に、MENU/NOを押す

## 2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

## 3 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Sleep Off」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す

## 4 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）設定を選び、AMSつまみまたはYESを押す

| スリープタイマーを | 選ぶ設定 |
|---|---|
| 働かせる | Sleep On |
| 働かせない | Sleep Off<br>（初期設定） |

「Sleep On」を選んだときは、「Sleep 60min」と表示されます。60分たつと自動的に電源が切れます。

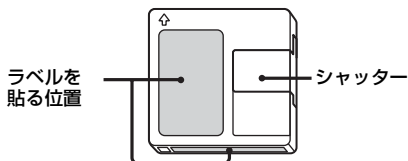
## 5 MENU/NOを押す

**電源が切れるまでの時間を確認できます。**

1 スリープタイマーを働かせたあとで「スリープタイマーを使う」の手順2までを行う。
2 AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Sleep ＊＊ min」を表示させる。

# MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルは、必ずラベル貼付用のくぼみに貼ってください。ラベルの形はディスクによって異なります。

### 置き場所について

直射日光が当たる所など温度の高い所や湿度の高い所には置かないでください。

### 定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

# システム上の制約

MD（ミニディスク）システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

### 最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される

MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のMDに分けて録音してください。

### 曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される

曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

### 短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない

MDの残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分（ステレオモード時）は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒）

### MDに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない場合がある

通常、1クラスタ（約2秒*）（ステレオモード時）が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒＊分のスペースを使います。このため実際に使用できる時間は少なくなります。また、MDに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は4秒、LP4ステレオ録音時は8秒）

次のページへつづく

### 編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある

### つなぐことができない場合がある

編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

### 曲番が正確に付かないことがある

デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。
また、セットアップメニューの「T.Mark」を「Lsyn」に設定して自動的に録音中に曲番を付けた場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確に付かない場合があります。

### 「TOC Reading」の表示がなかなか消えない。

購入したばかりの録音用MDを入れると、通常より「TOC Reading」表示が長く表示されます。

### モノラルモードで録音されたディスクでは時間が正確に表示されないことがあります。

## デジタルオーディオをコピーするときのルール — シリアルコピーマネージメントシステム

デジタルオーディオでは、音声をデジタル信号でやりとりします。コンパクトディスク（CD)、ミニディスク（MD)、デジタルオーディオテープ（DAT)、衛星デジタル音楽放送などがこれに相当します。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

**原則1**

デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできない。

**原則2**

アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

**ご注意**

- CS/BSチューナーからはデジタル録音できないことがあります。これは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を、禁止または制約する場合があるためです。
- 機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

**あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。（お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel. 03-5353-0336）**

# 故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、まず電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直したあとで以下の項目を参照して点検してみてください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

**操作を受けつけない。**

➔ MDが汚れている、または損傷しています。新しいMDと取り替えてください。

**再生できない。**

➔ 結露（本体内部に水滴が付着）しています。MDを取り出して、電源を入れたまま1〜数時間置いてください。
➔ 電源を入れてください。
➔ アンプとの接続を確認し、正しく操作してください。
➔ MDの矢印の向きに合わせて差し込んでください。
➔ 新しいMDが入っています。録音されているMDと取り替えてください。

**雑音が多い。**

➔ テレビなどから充分離してください。

**録音できない。**

➔ MDが誤消去防止状態になっています。誤消去防止つまみをずらして孔を閉じてください。
➔ 音源との接続を確認してください。
➔ INPUTを押し、音源を正しく選んでください。
➔ 録音レベルを高くしてください。
➔ 録音用ディスクと取り換えてください。
➔ 残り時間が充分ある録音用ディスクと取り換えてください。または、不要な曲を消してください。
➔ 録音中に電源コードが抜けたり、停電になったりすると、録音の内容を記録できない場合があります。はじめから録音し直してください。

**CDプレーヤーまたはビデオCDプレーヤーとのシンクロ録音ができない。**

➔ 本機に付属のリモコンの設定が合っていません。設定し直してください。

**表示窓にメッセージと3桁または5桁の英数字が交互に表示される。**

➔ 自己診断表示機能が働いています。46ページの表を見て対処してください。

上記のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。

# 自己診断機能と表示一覧

本機には自己診断表示機能があります。本機が正しく動作していないときに、表示窓に3桁または5桁の英数字コードとメッセージを交互に表示して知らせます。
以下の表をご覧になり、表示にあった対処をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

| コード/メッセージ | 原因と対応のしかた |
|---|---|
| C11/<br>Protected | ディスクが誤消去防止状態になっている。<br>➔ ディスクを取り出し、録音可能状態にする（11ページ）。 |
| C12/<br>Cannot Copy | CD-ROM、DVDなど録音できない音源を録音しようとした。<br>➔ ディスクを取り出し、音楽用のCDを入れる。 |
| C13/<br>REC Error | 正しく録音できなかった。<br>➔ 振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。 |
| | ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。<br>➔ ディスクを交換して、録音をやり直す。 |
| C13/<br>Read Error | ディスク情報を正しく読み取れなかった。<br>➔ ディスクを入れ直す。 |
| C14/<br>TOC Error | ディスク情報を正しく読み取れなかった。<br>➔ 他のディスクを入れてみる。<br>➔ ディスク上の内容をすべて削除してよいときは、記録されている内容をすべて削除する（28ページ）。 |
| C41/<br>Cannot Copy | 録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。またはCD-Rを録音しようとしている。<br>➔ シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピーできない（44ページ）。また、CD-Rは録音できない。 |
| C71/<br>Din Unlock | 一瞬表示されて消えるときは、録音中のデジタル放送の信号によるものです。録音内容に影響はありません。 |
| | デジタル音源からの録音中の接続が不完全である、または接続ケーブルが抜けた。音源の電源が切れた。<br>➔ 接続を確認する、またはデジタル機器の電源を入れる。 |
| E0001/<br>MEMORY NG | 本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。<br>➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 |
| E0101/<br>LASER NG | 光ピックアップに問題が生じた。<br>➔ 故障の可能性があります。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 |
| E0201/<br>LOADING NG | ローディングに問題が生じた。<br>➔ 故障の可能性があります。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。 |

# メッセージ表示一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表のとおりです。
46ページの「自己診断機能と表示一覧」もご覧ください。

| メッセージ | 意味 |
|---|---|
| Auto Cut | オートカットが働いている（16ページ）。 |
| Blank Disc | 購入したばかりの録音用MD、または全曲を消去した録音用MDを入れた。 |
| Cannot Copy | デジタル録音されたMDから録音しようとした。 |
| Cannot Edit | プログラム、シャッフル再生の状態で編集しようとした。また、LP2、LP4ステレオ録音したMDを編集しようとした。 |
| Disc Full | MDの残り時間がないため、録音できない（「システム上の制約」43ページ）。 |
| Impossible | 録音または編集操作ができない。 |
| Incomplete! | 本体の振動やディスクの傷、汚れなどにより、録音後の録音レベルの変更やフェードイン／フェードアウトの操作が正しく行われなかった。 |
| Initialize（点滅） | セットアップメニューの設定などを本機は記憶していない。また、前回に録音した内容が正しくMDに記録されていない。または前回に使ったときの再生状態などを本機が記憶していない。（I/⏻（電源）スイッチを押して電源を入れたときに、約4秒間点滅します。） |
| Name Full! | 曲名とディスク名の文字数が上限に達した。最高約1700文字しか入力できない。 |
| No Change | 録音後に録音レベルを変更するときに、録音レベルを変更しないでAMSつまみまたはYESを押したため、書き換えをせずに終了した。 |
| No Disc | MDが入っていない。 |
| No Name | 名前が付いていない。 |
| Premastered | 市販のMDソフトには録音できない。また、市販のMDソフトは編集できない。 |
| S.F Edit! | S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン／フェードアウト）の実行中に他の操作をしようとした。<br>S.F EDITの実行中は他の操作はできない。 |
| S.F Edit NOW | S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン／フェードアウト）の実行中にI/⏻（電源）スイッチを押した。<br>S.F EDITの実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しない。書き換え終了後に電源を切る。 |
| Smart Space | スマートスペースが働いている（16ページ）。 |
| StepFull! | プログラムした曲が最大値に達し、これ以上プログラムできない。 |
| TOC Reading | MDを入れた直後に、記録された情報を本機に読み込んでいる。 |
| Tr Protected | 保護されている曲を消そうとした。 |

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で、回収させていただきます。

## ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：MDS-JE580
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

# 主な仕様

| | |
|---|---|
| 形式 | ミニディスクデジタルオーディオシステム |
| ディスク | ミニディスク |
| 記録方式 | 磁界変調オーバーライト方式 |
| 再生読み取り方式 | 非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用） |
| レーザー | 半導体レーザー（λ＝780nm） |
| エラー訂正方式 | ACIRC（アドバンスド クロスインターリーブ リード ソロモンコード） |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz |
| コーディング | ATRAC（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）/ATRAC 3 |
| 変調方式 | EFM |
| チャンネル数 | ステレオ2チャンネル |
| 周波数特性 | 5～20,000Hz ±0.5dB |
| SN比 | 再生時96dB以上 |

### 入力端子

| | |
|---|---|
| 端子名 | アナログ入力 |
| 端子形状 | ピンジャック |
| 入力インピーダンス | 47kΩ |
| 基準入力レベル | 500mVrms |
| 最小入力レベル | 125mVrms |

| | |
|---|---|
| 端子名 | デジタルオプチカル入力 |
| 端子形状 | 角形光コネクタージャック |
| 発光波長 | 660nm |

### 出力端子

端子名　アナログ出力
端子形状　ピンジャック
出力レベル　2Vrms（50kΩ時）
負荷インピーダンス
　10kΩ以上

### 電源・その他

電源　AC 100V、50/60Hz
消費電力　7W（スタンバイ時0.5W）
最大外形寸法　430×95×285mm
（幅／高さ／奥行、最大突起部含む）
質量　3.0kg

### 付属品

9ページをご覧ください。

本機に対応する別売りアクセサリーは、予告なく変更することがあります。詳しくはお買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

**待機時消費電力0.5W**

**主なプリント配線板にハロゲン系難燃材を使用していません。**

**主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用**

**キャビネットにハロゲン系難燃材を使用していません。**

**袋に、焼却時、環境に有害な物質の発生を抑制する効果のある特殊酸化鉄を配合**

**包装用緩衝材に紙材料を使用**

**箱の印刷にVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用**

# エディットメニューの項目一覧

本機では、メニュー操作でさまざまな編集ができます。各編集操作についてはそれぞれの項目で述べてあるとおりですが、メニュー内の各項目とその働きを以下の表にまとめました。操作のご参考にお使いください。

## エディットメニューへの入りかた

MENU/NOボタンを押し、「Edit Menu」を表示させる。

### ご注意

本機の状態によって、MENU/NOボタンを押したときに表示される項目は異なります。

| 項目 | サブ項目 | はたらき | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| Nm In? | — | 曲やディスクに名前を付ける。 | 34ページ |
| Nm Erase? | — | 名前を消す。 | 37ページ |
| Tr Erase? | — | 曲を消す。 | 28ページ |
| Move? | — | 曲を移動する。 | 32ページ |
| Combine? | — | 曲をつなぐ。 | 31ページ |
| Divide? | — | 曲を分ける。 | 30ページ |
| A-B Erase? | — | 曲の一部を消す。 | 29ページ |
| All Erase? | — | 全曲を一度に消す。 | 28ページ |
| Undo? | — | 最後の編集操作を取り消す。 | 40ページ |
| S.F Edit? | Tr Level? | 1曲全体の録音レベルを変更する。 | 37ページ |
| | Fade In? | フェードインする曲を作る。 | 38ページ |
| | Fade Out? | フェードアウトする曲を作る。 | 38ページ |
| Setup? | — | セットアップメニューに入る。 | 50ページ |

# セットアップメニューの項目一覧

本機では、メニュー操作でさまざまな設定ができます。設定に必要な操作についてはそれぞれの項目で述べてあるとおりですが、メニュー内の各項目のはたらき、設定値、初期値などを以下の表にまとめました。操作のご参考にお使いください。

## セットアップメニューへの入りかた

**1** 停止中に、MENU/NOを押す。

**2** AMSつまみを回して（リモコンの⏮/⏭をくり返し押して）「Setup?」を表示させ、AMSつまみまたはYESを押す。

| 項目 | はたらき | 設定値 | 初期値 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| T.Mark | トラックマーキングのしかたを設定する。 | L.Syn/Off | LSyn | 14ページ |
| LS(T) | オートトラックマーキングの基準レベルを設定する。 | -72dB～0dB（2dB単位） | -50dB | 15ページ |
| S.Space | スマートスペースとオートカットを設定する。 | On/Off | On | 16ページ |
| P.Hold | 入力信号の一番高いレベルを常に表示する（ピークホールド機能）。 | On/Off | Off | 18ページ |
| F.in | フェードインの時間を設定する。 | 1.0s～15.0s | 5.0s | 41ページ |
| F.out | フェードアウトの時間を設定する。 | 1.0s～15.0s | 5.0s | 41ページ |
| Sleep | スリープタイマーを設定する。 | On/Off | Off | 42ページ |
| LPstamp | MDLP録音時に、曲名の頭に「LP:」を付けるように設定する。 | On/Off | On | 13ページ |

## 設定値を初期値に戻すには

各項目の設定画面でCLEARを押します。

# 索引

## あ行



## か行



## さ行



## た行



## な行



## は行



## ま行



## ら行



## A-Z

| よくあるお問い合わせ、解決方法などは<br>ホームページをご活用ください。 | **http://www.sony.co.jp/support** |
|---|---|

**使い方相談窓口**

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

**修理相談窓口**

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「306」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

**FAX（共通）** 0120-333-389　**受付時間** 月〜金：9:00〜20:00　土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

http://www.sony.co.jp/